

# 2023年度 都道府県別 大学・短大進学状況 — 補足 —



(株)旺文社 教育情報センター 2024年1月

ここでは表題の資料をよりよくご活用いただくために、資料の見方や各数値に関してご説明します。

## 各資料共通事項

- 「大学」「短大」… 国公立すべてを含みます。  
入学した学部の所在地で集計されています。
- 「高校」… 全日制のほか、定時制、中等教育学校後期課程を含みます。
- 「その他」… 外国の学校卒や、高認合格者、専修学校高等課程修了者など。

## Part.1 都道府県別データ

### ①P.2 ○○県内の大学への進学者数

その県の大学には、どの県の高校から進学してくるか。つまり、流入状況を表します。

北海道内の大学への進学者数<流入元>  
(2023年4月入学者)

	合計			男子			女子		
	出身高校の所在地	実人数	各県大学進学者における割合	出身高校の所在地	男子実人数	各県男子大学進学者における割合	出身高校の所在地	女子実人数	各県女子大学進学者における割合
北海道の大学にはどの県の高校から進学してくるか。↓	1 北海道	14,128	65.6%	1 北海道	7,748	64.8%	1 北海道	6,380	66.6%
	2 東京	561	0.7%	2 東京	360	0.9%	2 東京	201	0.5%
	3 青森	360	7.4%	3 青森	220	8.4%	3 青森	140	6.2%
	4 旭川	207	0.7%	4 旭川	112	0.9%	4 旭川	105	5.0%

「北海道の高校から」⇒地元進学率を表します。

地元進学率が高いのか低いのか、他県との比較はPart.2でご覧いただけます。

※割合は、各県の大学進学者におけるものです(高卒者ではありません)。短大等ほかの箇所でも同様です。

### ②P.4 ○○高校の大学への進学者数

その県の高校出身者は、どの県の大学へ進学していくか。つまり、流出状況を表します。

北海道内高校の大学への進学者数<流出先>  
(2023年4月入学者)

	合計			男子			女子		
	進学先大学の所在地	実人数	県内大学進学者における割合	進学先大学の所在地	男子実人数	県内男子大学進学者における割合	進学先大学の所在地	女子実人数	県内女子大学進学者における割合
北海道の高校出身者はどの県の大学へ進学していくか。↓	1 北海道	14,128	65.6%	1 北海道	7,748	64.8%	1 北海道	6,380	66.6%
	2 東京	2,298	10.7%	2 東京	1,253	10.5%	2 東京	1,045	10.9%
	3 神奈川	687	3.2%	3 神奈川	384	3.2%	3 神奈川	303	3.2%
	4 大阪	474	2.9%	4 大阪	260	2.2%	4 京都	100	2.1%

「北海道の大学へ」⇒地元進学率を表します。

## Part.2 全国共通データ

### ③P.2 各都道府県の地元大学進学率

①②の各県の地元進学率を一覧にしています。各県の「高校の大学進学者に占める地元進学者の割合」です。

### ④P.4 各都道府県の大学 地元出身者占有率

各県の「大学の入学者に占める地元出身者の割合」を一覧にしています。

この「地元占有率」は、③「地元進学率」と全く異なります。分子は「地元出身者(進学者)」で同じですが、分母が「高校視点」なのか「大学視点」なのかが異なります。

例; A県の高校の大学進学者=2,000人/大学の入学者=1,000人/地元出身者(進学者)=500人の場合

$$\text{地元進学率 (高校視点)} = \frac{\text{地元進学者}}{\text{A県の高校の大学進学者}} = \frac{500}{2,000} \Rightarrow \text{A県の高校の大学進学者のうち、25\%が地元大学へ進学した。}$$

$$\text{地元占有率 (大学視点)} = \frac{\text{地元出身者}}{\text{A県の大学の入学者}} = \frac{500}{1,000} \Rightarrow \text{A県の大学の入学者のうち、50\%を地元高校出身者が占めている。}$$

例えばある県で、地元進学率が低かったとします。だからといって「県内の大学に人気がない」と性急に結論づけることはできません。ほかにも原因はいろいろ想定されますが、特に「そもそも大学(入学定員)が少ない」可能性があります。そこで入学者に対しての地元出身者の割合(地元占有率)をセットで見る必要があります。

例; 「地元進学率=低い」けれども「地元占有率=高い」⇒「県内に大学が少ない」などが想定されます。

### ⑤P.6 各都道府県 大学進学者の他県への流出率

③の地元進学率と対になる数値です。ランキングは逆になっただけ、割合は「100-地元進学率」になります。

### ⑥P.8 各都道府県の大学の他県からの流入率

④の地元占有率と対になる数値です。ランキングは逆になっただけ、割合は「100-地元占有率」になります。

### <細かいので気になる方だけ> 「その他」の扱いについて

③~⑥の各表で47都道府県の下にある「その他」(外国の学校卒、高認合格者、専修学校高等課程修了者など)。実数は⑤でご覧いただけます。各表で最下段の「計」を算出するにあたり、「その他」は次のように扱っています。

③地元進学率、⑤流出率の「計」・・・「その他」を除いて算出 } いずれも逆の判断をした場合に、全国平均として、  
④地元占有率、⑥流入率の「計」・・・「その他」を含めて算出 } 現実から乖離した数値が出てしまうため。

### ⑦P.10 各都道府県 大学等への現役進学率

「大学等」とは、大学の学部、短大の本科のほか、通信教育部、別科、高等学校等の専攻科も含まれます。全日制・定時制高校、中等教育学校後期課程の新規卒業生における進学率です。通信制高校は含みません。

## Part.3 全国生徒数

### ⑧P.2 全国生徒数

「義務教育学校 1~6年生⇒小学校」「同 7~9年生⇒中学校」「中等教育学校 前期⇒中学校」「同 後期⇒高校」に含みます。高校は定時制も含みます。「4年生」は定時制の生徒数です。